

ソフトバレーボール

特徴

ソフトバレーボールは、バレーボールから派生した球技で、福井県小浜市で考案されました。生涯スポーツの一環として推進されたスポーツで、基本的には6人制バレーボールのルールに準じて行われますが、ゴム製のボールを利用することから、ホールディングなどのルールが緩和されるなど、比較的誰でも楽しむことができるスポーツとなっています。近年では、各地域にクラブや協会などが設立され、盛んに取り組まれているスポーツのひとつです。

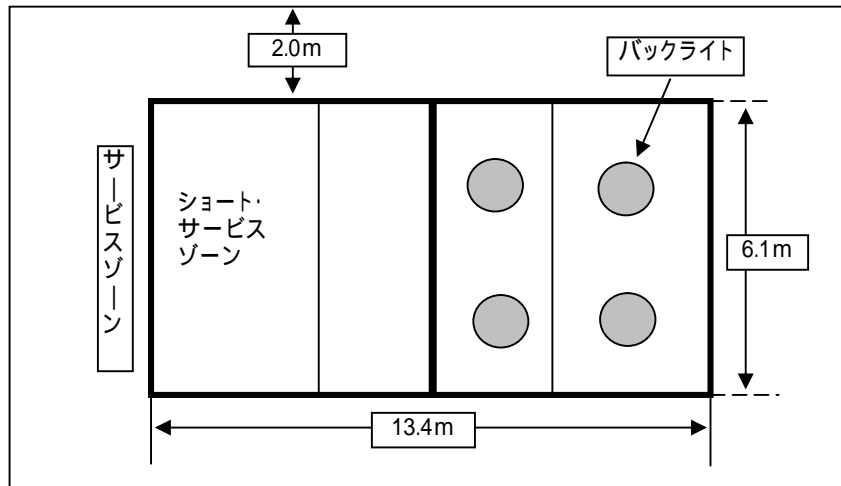
コート大きさや使用する道具

コート: バドミントンコート(ダブルス)

6.10m x 13.4m

ネット: 2.0m

ボール: ゴム製 重さ 200 ~ 220g
周囲77cm ~ 79cm



ルール・競技規則など

チーム構成は、1チーム監督1名(選手兼任可)、競技者4名、交代要員4名以下とする。

1セット15点先取、3セットマッチで行う。14点以降で動転の場合はジュースとし、2点差以上で試合を決する。ただし、点差にかかわらず17点で打ち切りとする。(大会によってはローカルルールを定めているところもある。)

基本ルールは、6人制バレーボールに順ずる。

サービスは、バックライトのポジションにいる選手(ローテーションあり)が、サービスゾーン(あるいは、ショートサービスゾーン)から片方の手または腕で打ち、相手コートへ入れる。

サービスは1回とし、主審のサービス吹笛後、5秒以内に行わなければならない。

チームは、ネットを越えて相手コートにボールを返すまでに、ブロックの接触を除いて最大3回ボールに触れることができる。ただし、同一選手が2度続けてボールに触れることはできない。(ブロックでの接触を除く)

また、同一チームの二人の選手が同時にボールに触れた場合は、1回触れたものとみなし、その後は、いずれの選手もボールに触れることができる。

サービスとブロックを除き、ボールをネットより高い位置から相手に向かって打ち込む動作を、すべて「アタックヒット」と呼び、4人の選手は、どの位置からでもこのアタックヒットを行うことができる。ただし、相手がサーブしたボールをアタックヒットしてはいけない。

ブロックは、相手から送られてくるボールを、ネットの上で阻止する行為を言い、サービスボール以外のボールについてブロックすることが許される。ただし、オーバーネットは許されない。

詳しい内容を知りたい場合

日本ソフトバレーボール連盟 ホームページ: <http://www.soft-volleyball.jp/rule/rule.html>